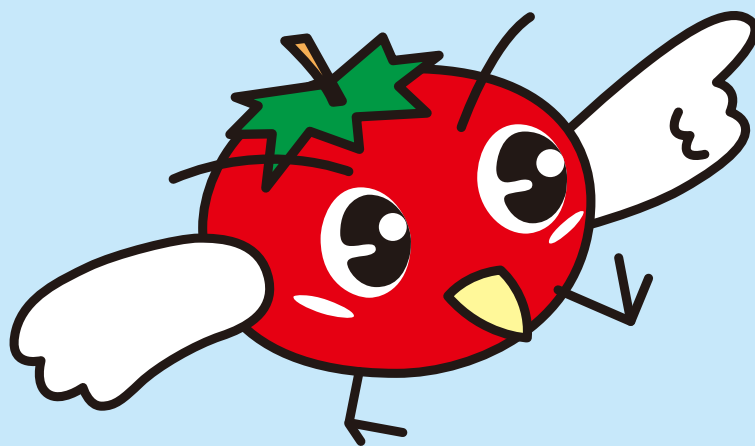


トマツピー教育プランⅢ

第3期木曾岬町教育振興基本計画

[令和8(2026)年度～令和12(2030)年度]

【概要版】



令和8(2026)年3月

木曾岬町教育委員会

I 第3期木曾岬町教育振興基本計画について

1 計画策定の趣旨

このたび、「トマッピー教育プランⅡ（第2期木曾岬町教育振興基本計画）」の計画期間が令和7（2025）年度末をもって終了することから、これまでの計画が果たしてきた役割を継承しつつ、取組成果を検証するほか、園児・児童生徒、保護者、教職員を中心とした教育行政に関するアンケート調査の結果や最新の教育課題を踏まえ、今後の方針や重点事項について検討を重ね、5年間の計画期間とした「トマッピー教育プランⅢ（第3期木曾岬町教育振興基本計画）」（以下「本計画」）を策定しました。

2 本計画の位置づけ

本計画は、教育基本法第17条の規定に基づき、本町の教育の振興のための施策に関する基本的な計画として策定しました。また、本町の教育大綱に代える役割を担うものと位置づけて作成しており、今後の教育施策を展開する上で根本をなすものにとらえています。作成にあたっては、本町の今後の姿を見通した第6次総合計画（2024～2033）や三重県教育ビジョン（2024～2027）を踏まえた内容としています。

3 本計画の期間

本計画は、令和8（2026）年度から令和12（2030）年度までの5か年を計画期間とします。毎年度、本計画の進捗状況について、点検・評価を行い、必要な改善を図りながら、各施策を推進します。また、教育をめぐる社会情勢の変化等に応じ、適宜見直しを行うこととします。

II 計画の基本的な考え方

1 教育行政の目標

『すべての町民が生きる喜びを実感できる人づくり』

- 社会教育のめざす姿
地域に根ざした学びの輪がひろがるまちづくりをめざして
- 学校教育のめざす子どもの姿
夢に向かいチャレンジする 輝く木曾岬っ子

この目標は、教育行政が創造的な業務遂行のもと、学校・家庭・地域の更なる連携・協働を支援することで、子どもも大人も町民一人一人が「郷土木曾岬」を愛し、誇りに思い、自らの居場所と夢を持って生きる喜びを実感し、健康で主体的に学習しながら心豊かに生活していくことを願ったものです。

2 本計画の全体構成

本計画では、教育行政の目標を「すべての町民が生きる喜びを実感できる人づくり」と設定し、その目標を達成すべく、社会教育の「めざす姿」と学校教育の「めざす子どもの姿」を位置づけています。そして、そのめざす姿を達成すべく4つの基本方針をつくり、生涯学習や、こども園・小中学校のさまざまな教育活動を推進し、教育効果を高めることをねらいとしています。

Ⅲ 基本方針と施策体系および評価目標

基本方針Ⅰ 地域に根ざした文化・生涯学習の推進

自己啓発や生活の充実のための学びの環境を整え、町民のニーズに応える質の高い学習機会を提供するとともに、その成果を生かすことができる生涯学習を推進していく必要があります。

(1) 地域に根ざした多様な学習機会の提供

施策	評価指標	現状値(令和6年)	目標値(令和12年)
利用しやすい図書館づくりの推進	①町立図書館への来館者数 ②町立図書館利用者のうち「満足している」と肯定的に回答した割合 ③「以前(前年度)に比べて読書するようになった」と考える保護者の割合	①町人口の2.51倍 (14,872人) ② 86.0% ③ 60.0%	①町人口の2.71倍 ② 88.0% ③ 70.0%
公民館運営の充実	①公民館講座・教室の開講数 ②公民館講座・教室受講者のうち「満足している」と肯定的に回答した割合	① 10 講座 ② 97.5%	① 12講座 ② 100%
生涯学習施設(町民ホール等)の適正な維持管理	利用者マニュアルの作成と更新	未策定	策定済、随時更新

(2) 体力や年齢に応じたスポーツ活動の推進

施策	評価指標	現状値(令和6年)	目標値(令和12年)
生涯スポーツ推進への啓発	スポーツ協会によるスポーツイベントへの参加者数	町人口の0.18倍 (1,076人)	町人口の0.24倍
各スポーツ施設等の利用促進	①各スポーツ施設の利用者数 ②各スポーツ施設利用者のうち「満足している」と肯定的に回答した割合	①町人口の4.45倍 (26,352人) ② 71.4%	①町人口の5.00倍 ② 80.0%
スポーツ関係団体との連携の促進	スポーツイベントにおける各スポーツ団体との連携回数	5回	6回

(3) 地域文化を継承していく活動の支援

施策	評価指標	現状値(令和6年)	目標値(令和12年)
文化団体等への活動支援の充実	①文化協会加盟団体数 ②団体の活動に対して「満足している」と肯定的に考える会員の割合	① 14団体 ② 98.9%	① 16団体 ② 100%
伝統文化の継承と文化資源の保存	園、学校への年間指導回数	4回	6回
文化資料館の今後のあり方について	評価指標は、今後の方向性が決まり次第設定します		

(4) 人権が尊重される地域づくり活動の支援

施策	評価指標	現状値(令和6年)	目標値(令和12年)
人権教育に携わる者の資質向上と推進体制の充実	①県内外の各種人権研修会への参加のべ人数 ②「人権を意識した指導や保護者への対応してきた」と肯定的に回答した教職員の割合	① 20人 ② 90.5%	① 25人 ② 100%
人権啓発活動の推進	①人権映画会と人権講演会の参加者合計人数 ②人権映画会と人権講演会に「参加してよかった」と肯定的に回答した方の割合	① 町人口の4.9% (292人) ② 88.0% (映画会90.5% 講演会85.4%)	① 町人口の5.5% ② 町人口の90.0%

(5) 青少年を守り育てる社会環境の整備

施策	評価指標	現状値(令和6年)	目標値(令和12年)
青少年の健全育成の推進	子ども見守りボランティアの登録者数	町人口の2.3% (138人)	町人口の2.5%
家庭・地域支援活動の促進	園、学校への教育活動年間支援者数	園:全園児の2.52倍 小:全児童の2.00倍 中:全生徒の1.24倍	園:全園児の2.55倍 小:全児童の2.10倍 中:全生徒の1.40倍
子どもの体験活動を充実させるための学び場の提供	①ホリデー教室の参加のべ人数 ②「ホリデー教室にまた参加したい」と答えた子どもの割合	①全校児童1.26倍 (258人) ② 94.1%	①全児童の1.50倍 ② 95.0%

基本方針2 「生きる力(の基礎)」を育む園・学校教育の推進

子どもたちの「生きる力(の基礎)」やその中で重視されている知・徳・体の育成の意義を改めて捉え直し、夢と希望を持って可能性に挑戦するために必要な力を着実に養っていくことが必要です。

(1) 生きる力の基礎を育む幼児教育の推進

施策	評価指標	現状値(令和6年)	目標値(令和12年)
幼児教育の推進	「園は子ども一人一人に応じた丁寧な保育や指導を行っている」と肯定的に考える保護者の割合	93.4%	94.0%
多様な体験ができる保育環境の整備・充実	「日々の環境設定を工夫することで、園児の自発活動が活発になってきた」と肯定的に考える教職員の割合	85.7%	90.0%
小・中学校との連携の推進	木曾岬町版「アプローチカリキュラム」「スタートカリキュラム」を活用することで、円滑な連携が図られていると肯定的に考える教職員の割合	今後把握	90.0%

(2) 学校教育の充実による確かな学力の育成

施策	評価指標	現状値(令和6年)	目標値(令和12年)
「わかりやすい授業づくり」の推進	①全国学力・学習状況調査において全国平均正答率を上回った教科数 ②学習用タブレットを活用した授業により、「授業がよくわかる」と肯定的に考える児童生徒の割合	① 1/実施教科 [R6実施教科 小:国算 中:国数英] ② 92.4%	① 全教科 ② 93.0%
読書活動の推進	「読書は楽しい」と肯定的に考える児童生徒の割合	82.2%	85.0%
少人数学習の充実	「自ら学び、考えて取り組んでいる」と肯定的に考える児童生徒の割合	92.4%	93.0%
補充学習の充実	小・中学生対象の補充学習会の参加者のうち、「満足している」と肯定的に回答した児童生徒の割合	実施なし	80.0%

(3) グローバルな時代に相応しい教育の充実

施策	評価指標	現状値(令和6年)	目標値(令和12年)
英語教育・英語活動及び国際理解教育の推進	CEFR:A1 レベル(英検3級)相当以上の英語力を習得している中学3年生の割合	38.3%	60.0%
夢と志を育むキャリア教育の推進	「将来の夢や目標を持っている」と肯定的に考える児童生徒の割合	89.2%	90.0%

(4) 多様なニーズに応じた特別支援教育及び外国人児童生徒支援教育の推進

施策	評価指標	現状値(令和6年)	目標値(令和12年)
特別支援教育の推進	町教委が主催する特別支援教育コーディネーター会議の開催回数	1回/年	2回/年
切れ目のない支援の充実	個別の支援が必要な児童生徒のパーソナルファイル(県様式)の作成率	100%	100%
外国人児童生徒支援教育の推進	中学卒業時に、自身が希望する進路を選択することができた外国人児童生徒の割合	100%	100%

(5) 健全で豊かな心を育む教育の充実

施策	評価指標	現状値(令和6年)	目標値(令和12年)
道徳教育・人権教育の推進	①「『考え議論する道徳』をめざした授業づくりに努めた」と肯定的に考える教職員の割合 ②「学習を通して、人権に関する理解を深めることができた」と肯定的に考える児童生徒の割合	① 81.3% ② 92.7%	① 85.0% ② 95.0%
いじめをなくす取組の推進	いじめの認知件数に対して解消したものの割合	100%	100%
不登校対策をはじめ多様な子どもの居場所づくりの推進	不登校児童生徒数(1,000人当たり)	78.7人 (R5年度町平均)	37.2人

(6) 体力の向上と健康教育・食育の推進

施策	評価指標	現状値(令和6年)	目標値(令和12年)
体力向上と学校体育活動の推進	全国体力・運動能力等調査において、全国平均以上の種目数(小中学校男女で全32種目)	13種目	24種目
子どもの心身の健康の保持増進	「毎日の生活の中で、健康管理や安全面に気を付けている」と肯定的に考える児童生徒の割合	93.7%	95.0%
食育の推進	「毎日の生活の中で、食事に気を付けて生活している」と肯定的に考える児童生徒の割合	88.4%	90.0%

(7) 園・小中学校が連携した教育の充実

施策	評価指標	現状値(令和6年)	目標値(令和12年)
園・小中学校の連携を強化した取組の促進	町教委が主催する園・学校合同研修会等の開催数	3回/年	4回/年
小中一貫教育の充実に向けた研究の推進	①園児、児童生徒の交流事業の年間実施回数 ②学校のあり方に関する検討会の複数開催	① 3回/年 ② —	① 4回/年 ② 3回/年

(8) 信頼される教職員の育成

施策	評価指標	現状値(令和6年)	目標値(令和12年)
指導力向上への支援と不祥事根絶に向けた取組	①「研修等を通じて、指導力を高めることができた」と肯定的に考える教職員の割合 ②「常に自己の使命と職責の重大さを認識し、コンプライアンスを自分事として捉えている」と肯定的に考える教職員の割合	① 96.7% ② —	① 97.0% ② 100%
教職員の業務改善への取組	①小・中学校における1年間の時間外在校等時間の合計が360時間以下の教職員の割合 ②休日部活動の地域展開が実施できた中学校の部活動種目の割合	① 33.3% ② 0%	① 100% ② 100%

基本方針3 学校・家庭・地域との協働による教育の推進

近年の子どもたちは、規範意識の希薄化、生活習慣の乱れ、コミュニケーション能力の低下など様々な課題が指摘されています。それらの課題を解決するためには、学校・家庭・地域それぞれが持てる力を出し合い、協働しながら子ども達の健全育成に向けて取り組んでいくことが必要です。

(1) コミュニティ・スクールの推進

施策	評価指標	現状値(令和6年)	目標値(令和12年)
園・学校運営協議会の充実	「学校に満足している」と肯定的に考える児童生徒、保護者の割合	90.5%	95.0%
創意工夫による信頼される園・学校づくりの推進	「園・学校は日常的に情報発信をしている」と肯定的に考える保護者の割合	93.7%	95.0%

(2) 郷土への愛着や誇りを育む教育の推進

施策	評価指標	現状値(令和6年)	目標値(令和12年)
郷土教育の推進	「学習の中で地域の方から学んだり、地域のことを考えたりした」と肯定的に考える児童生徒の割合	85.8%	90.0%
地域貢献・町行事等への参加の促進	「町の行事に参加したり、地域のために活動したりした」と肯定的に考える児童生徒の割合	95.4%	96.0%

(3) 子どもたちの安全・安心の確保

施策	評価指標	現状値(令和6年)	目標値(令和12年)
防災教育の推進	園・学校の実情に応じた学期に1回以上の避難訓練の実施率	100%	100%
園・学校の危機管理体制の確立	「園・学校は安全対策を整えている」と肯定的に考える保護者の割合	93.0%	95.0%

(4) 子どもの健全育成の推進

施策	評価指標	現状値(令和6年)	目標値(令和12年)
家庭・地域の教育力向上に向けた支援	「あいさつがしっかりできる」と肯定的に考える児童生徒、保護者の割合	88.8%	95.0%
「夢に向かってがんばる木曾岬っ子応援キャンペーン」の取組の充実	「子どもたちの健全育成のために、保護者、地域、学校が連携して取り組みがなされた」と肯定的に考える保護者の割合	88.6%	90.0%
地域の子ども育成団体等との連携	地域の子ども育成団体との意見交流の実施	1回/年	1回以上/年

基本方針4 学びを支える快適な学習環境づくりの推進

施設の老朽化や子どもたちを取り巻く生活環境の変化等に対応し、園児・児童生徒が過ごしやすい学習環境づくりを進める必要があります。また、さまざまなデータを活用し、より有効な教育活動が展開できるよう、一人一台端末や校務支援システム等 ICT 環境や校務 DX に係る環境整備を進める必要があります。

(1) 学びを支える快適な学習環境づくりの推進

施策	評価指標	現状値(令和6年)	目標値(令和12年)
老朽化や生活様式の変化等に対応した学びの環境づくりの推進	①修繕箇所対応数 ②教室等のLEDの整備状況	① — ② —	① 30件以上 ② 100%
教育のDX化を視野に入れたICT環境整備の推進	①「教職員が校務支援システムを利用し、効率的に校務を処理できている」と肯定的に考える教職員の割合 ②児童生徒の一人一台端末の更新・整備	① — ② 旧機種で整備	① 90.0% ② 新機種で更新・整備

IV 計画の推進

I 検証改善サイクル(PDCAサイクル)の実践

本計画の推進にあたっては、進捗状況を客観的に検証し、明らかになった成果や課題などをフィードバックし、施策に反映させていく検証改善サイクル(PDCAサイクル)の実践が重要です。

そこで、本計画では、4つの基本方針のもと、18の施策方針を効果的かつ着実に実施するための評価目標を設定しています。毎年度実施するアンケート調査をもとにして、指標に基づいた目標の達成状況を確認することにより施策の点検・評価を行い、目標達成に向けた改善につなげることで、より良い取組を模索し続けていきます。



【文化講座:英会話】



【町民体育祭】



【木曾岬音頭・小唄保存会:踊ろう会】



【こども園:読書活動】



【小学校:インターナショナルデー】



【中学校:町議会議員とのふるさと懇談会】

トマッピー教育プランⅢ【概要版】

第3期木曾岬町教育振興基本計画〔令和8(2026)年度～令和12(2030)年度〕

発行年月 令和8(2026)年3月

編集・発行 木曾岬町教育委員会

〒498-8503 三重県桑名郡木曾岬町大字西対海地 251 番地

TEL 0567-68-1617 / fax 0567-66-4841